

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 15日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒276-0046

住 所 千葉県八千代市大和田新田672-1

氏 名 NSガルバ株式会社

代表取締役 春田 臣一

電話番号 047-450-8124

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

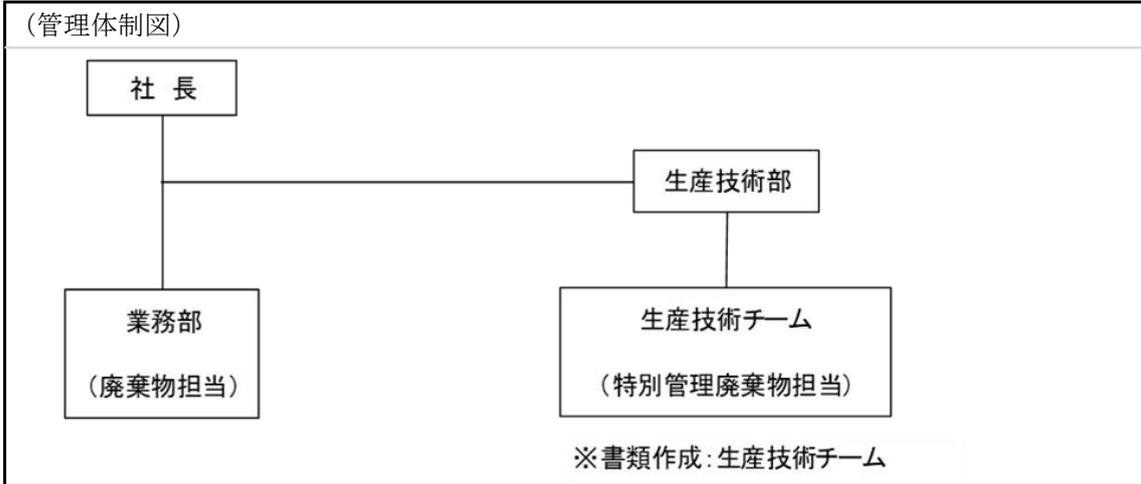
事業場の名称	NSガルバ株式会社
事業場の所在地	千葉県八千代市大和田新田672-1
計画期間	2023年4月～2023年8月（令和5年6月事業終了）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：金属製品製造業
② 事業の規模	2022年製品出荷額：1,754,006,691円
③ 従業員数	97人（派遣、アルバイト含む）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[めっき製造工程] --> B[混合廃棄物] A --> C[汚泥] B --> D["委託処理(リサイクル) (リサイクル・埋め立て)"] C --> E[脱水] E --> F[委託処理(リサイクル)] G[製造出荷工程] --> H[木くず・ビニール] H --> I[委託処理(リサイクル)] </pre>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	6.9 t	1.1 t
	(これまでに実施した取組) (木くず) ・木製パレット、台木再利用 ・預かりパレット返却の推奨 (金属くず) ・主に補修用缶スプレーのため補修作業の教育		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	10 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) (木くず)・(金属くず) 令和5年6月で事業終了のため 片付け業務により増量が見込まれる		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず：預かりパレット置き場のパトロール実施（1回/月） 金属くず：保管場所のパトロール実施（1回/月）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (木くず・金属くず) 事業終了により増量が見込まれる

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	排出量	32.4 t	0.7 t
	(これまでに実施した取組) (廃酸) ・濃度調整 ・定期清掃の実施 (廃油) ・再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	排出量	100 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (廃酸) ・令和5年6月で事業終了により廃液処理 (廃油) ・事業終了により設備撤去により発生		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸：濃度調整、定期清掃 廃油：再利用
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸：事業終了による廃液処理 廃油：事業終了による設備撤去にて発生

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	蛍光灯
	排出量	12.7 t	0.1 t
	(これまでに実施した取組) (管理型混合廃棄物) ・分別処分の教育 (蛍光灯) ・LED照明の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	蛍光灯
	排出量	20 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) (管理型混合廃棄物) ・事業終了による片付け (蛍光灯) ・事業終了による蛍光灯の処分		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物：パトロールの実施(1回/月) 蛍光灯：保管場所(容器)のパトロール実施(1回/月)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物：パトロールの実施(1回/月) 蛍光灯：保管場所(容器)のパトロール実施(1回/月)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	3020.1 t	t
	(これまでに実施した取組) (汚泥) ・前処理槽の定期清掃		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1510 t	t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) ・事業終了により汚泥発生量減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥：前処理槽の定期清掃
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥：事業終了により汚泥発生量減

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2551.9 t	t
(これまでに実施した取組) (汚泥) ・フィルタープレスのフィルター洗浄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1276 t	t
(今後実施する予定の取組) (汚泥) ・フィルタープレスのフィルター洗浄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	6.9 t	1.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) (木くず) ・木製パレット、台木再利用 ・預かりパレット返却の推奨 (金属くず) ・主に補修用缶スプレーのため補修作業の教育		

(第4面) 前のページにつづき

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	全処理委託量	32.4 t	0.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) (廃酸) 処理委託業者の ①安定操業、②許可書の保持、③電子マニフェストの利用 以上3項目を満足している事を確認 (廃油) 再利用			

(第4面) 前のページにつづき

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	12.7 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) (管理型混合廃棄物・蛍光灯) ・保管場所のパトロールの実施			

(第4面) 前のページのつづき

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	468.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) (汚泥) 処理委託業者の ①安定操業、②許可書の保持、③電子マニフェストの利用 以上3項目を満足している事を確認			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	10 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (木くず)・(金属くず) 令和5年6月で事業終了のため 片付け業務により増量が見込まれる		
※事務処理欄			

(第5面) 前のページのつづき

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油
	全処理委託量	100 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (廃酸) 処理委託業者の ①安定操業、②許可書の保持、③電子マニフェストの利用 以上3項目を満足している事を確認 (廃油) 再利用		
※事務処理欄			

(第5面) 前のページにつづき

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	20 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (管理型混合廃棄物・蛍光灯) ・保管場所のパトロールの実施		
※事務処理欄			

(第5面) 前のページのつづき

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	234	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) 処理委託業者の ①安定操業、②許可書の保持、③電子マニフェストの利用 以上3項目を満足している事を確認		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	排出量	6.9 t	1.1 t	32.4 t	0.7 t	12.7 t	0.1 t	3020.1 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	排出量	10 t	2 t	100 t	1 t	20 t	0.1 t	1510 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	2551.9 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	1276 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	全処理委託量	6.9 t	1.1 t	32.4 t	0.7 t	12.7 t	0.1 t	468.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	廃酸	廃油	管理型混合廃棄物	蛍光灯	汚泥	
	全処理委託量	10 t	2 t	100 t	1 t	20 t	0.1 t	234 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t